

書面添付シンポジウム

～中小企業金融における決算書の信頼性～

参加人数
事務所数：184事務所239名
金融機関： 25行101名
合計： 340名

2019年11月12日（火）13:30～19:30
於：リッツカールトン大阪



近畿大阪会 会長
野垣浩先生

開催挨拶

書面添付は税理士が関与している中小企業において、約23万4千件出ています。これは全体の10%以下です。市場認知を得るには10.9%以上のシェアが必要であり、社会に認知されれば、金融機関や関与先にも書面添付の価値が浸透します。

また、信頼できる決算書は識別可能であり、決算書の信頼性を識別する手段として書面添付が必要です。



大阪国税局 課税総括課
課長補佐 尾山敏晴様

「税務行政の将来像及び書面添付制度」

事前通知前の意見聴取の実施

顕著な増減事項・増減理由や会計処理方法に変更があった事項・変更の理由については質疑を行うなどして疑問点の解明を行い、その結果を踏まえて調査を行うかを判断します。添付書面の内容は、**書きすぎて不利益を生じることはありません！**



TKC全国会 書面添付推進委員会
委員長 濱田秀文先生

これからの中堅企業金融における税理士と

「書面添付」の役割に関して

会計事務所目線での書面添付に関して、意見聴取等の事例を基にお話いただきました。また、金融機関に向けても信頼できる決算書の識別方法をご講演いただきました。

TKC方式の書面添付

→税理士法が要請する「申請の事実」による業務の遂行には巡回監査の実践が必要であり、巡回監査の実施内容の外部への明示が書面添付です。
巡回監査と書面添付は「ひとつ」です。

信頼性の高い決算書の条件

税理士法33条の2に基づく添付書面

中小会計要領への準拠

電子申告した内容と同じ決算書等である（一気通貫・TKCモニタリング情報サービス）

月次巡回監査を実施している（記帳適時性証明書）

どの税理士が関与しているか（TKC会員か否か）

「地域金融と金融行政」

金融機関行政の目指す方向や地域金融機関に期待されている役割、「経営者保証に関するガイドラインの活用」、融資に関する検査・監督の考え方と進め方についてご講演いただきました。

経営者保証に関するガイドライン

事業承継時に焦点をあてた「経営者保証に関するガイドライン」の特則を、年内を目途に策定予定です。この特則では、**金融機関において、原則として前経営者、後継者の双方から二重には保証を求めるようにし**、両者の保証要否の検討において事業承継への影響も考慮した柔軟な判断の促進を行う予定です。



財務省 近畿財務局 理財部
検査監理官 野村俊之様

パネル・ディスカッション

『金融機関から見た信頼できる「決算書」』

近畿兵庫会中小企業支援委員長の津田弘一先生がコーディネーターを務め、日本政策金融公庫、三菱UFJ銀行、但馬銀行の方々がパネル・ディスカッションを行いました。

決算書の粉飾は、悪意の有無に関わらず金融機関が気にする部分です。添付書面や記帳適時性証明書が添付されている決算書は、月次巡回監査の上に成り立っている信頼性の高い決算書といえます。

また、TKCモニタリング情報サービスは経営者の情報開示への積極性を評価することができ、融資審査の重要な要素となります。

書面添付シンポジウムと 交流会の様子



書面添付シンポジウム

○とき：2019年11月12日(火) ○ところ：ザ・リッツカールトン大阪

滋賀支部 美濃部 淳

令和元年11月12日(火)ザ・リッツカールトン大阪において、書面添付シンポジウムが開催されました。

野垣浩TKC近畿大阪会会長の開催挨拶から始まり、大阪国税局 課税総括課 課長補佐 尾山敏晴様より「税務行政の将来像及び書面添付制度について」講演いただきました。おおむね10年後のイメージであるスマート税務行政の説明と、書面添付制度については、記載がない事項については確認する等の意見聴取に関する内容をお話しいただきました。



次にTKC全国会 書面添付推進委員会 委員長 濱田秀文先生より「これからの中 小企業金融における税理士と「書面添付」の役割について」講演いただきました。翌月巡回監査が重要であることや書面添付を全社提出できるように努力することが事務所の総合力強化につながる等、お話しいただきました。

次に近畿財務局 理財部検査監理官 野村俊之様より「地域金融と金融行政」について講演いただきました。金融庁・財務局は、地域金融機関に対し事業性評価による融資や助言を行うよう促していることや「経営者保証に関するガイドライン」の活用促進のための取り組み等、お話しいただきました。

最後に、TKC近畿兵庫会 中小企業支援委員長 津田弘一先生をコーディネーターに日本政策金融公庫様、三菱UFJ銀行様、但馬銀行様をパネラーとして「金融機関



から見た信頼できる「決算書」」についてパネルディスカッションが行われました。各金融機関様のTKC決算書に関する造詣の深さや書面添付より投資計画の情報を読み取り活用している等、実際の活用事例について知ることができました。書面添付に関する様々な視点からのお話が聞けて、とても参考になりました。